

上級職場適応援助者養成研修カリキュラム

	科目名	形態	内容	時間(分)
1	職場適応援助に関する制度	講義	○職場適応援助者の役割及び上級職場適応援助者の役割 ○障害者雇用施策の動き及び障害者の労働市場の動向を把握し、情報の活用や効果的な支援を検討 等	60
2	職場適応上の課題に応じた支援 ～特性を考慮した支援～	講義・ 事例検討	○職場適応上の課題に応じた支援事例をとおした、上級即場適応援助者としての幅広い障害種別、障害像に対応、支援ニーズに応じた関係機関との調整及びコーディネート 等	120
3	企業における労務管理の実務	講義・ 事例検討	○障害者の労務管理(労働法等の地域の活用、キャリア形成、能力開発等)の実際、上級職場適応援助者として企業への助言を行う際の企業側の取り組み ○合理的配慮の設定過程に係る事例をとおした企業や障害者への助言内容の検討、適切な支援方法 等	120
4	障害者雇用に向けた支援のプロセス	講義・ 事例検討	○障害者雇用に向けた各支援のプロセスに必要な視点 ○大企業、中小企業の障害者雇用事例、障害者雇用の立ち上げ支援等の雇用前の支援を含めた支援内容の検討 等	420
5	職場定着に関する相談と調整	講義・ 事例検討	○各種事例に関する課題解決に向けた関係者間の調整方法の検討 ○課題解決に向けた関係者間の相談と調整、状況変化に伴う調整 等	420
6	職場適応援助者支援におけるスーパーバイズの基礎と心構え	講義・演習	○上級職場適応援助者として必要なスーパーバイズの基礎 ○各支援期(アセスメント、支援計画作成、集中支援期、移行支援期、フォローアップ)におけるスーパーバイズの視点 ○支援事例をもとにしたスーパーバイズの演習	90
7	職場適応援助者支援におけるスーパーバイズの実際	講義・演習	○スーパーバイザーとして支援経過・支援結果を分析、その内容を言語化、一般化して伝えるうえで必要な視点 ○受講者自身の事例をもとにした支援手法・ノウハウの共有(言語化)、スーパーバイザーとして支援の分析、言語化、一般化して他者に伝える演習	330
8	就労系障害福祉サービスの現状、連携	講義・演習	○就労移行支援事業所、就労継続支援A型事業所、就労継続支援B型事業所、就労定着支援事業所等における職場適応援助者支援との連携、ケースマネジメントに必要な知識 ○福祉サービス事業所等から一般雇用へ移行した事例をとおした、福祉サービス事業所、障害者、企業との調整や連携	120
合計				1680